

ママ

×

子育て



～勉強できる子のママがやっていること～

第9回 褒め方・叱り方・諭し方 Vol.2

# ●叱ることと虐待は全く違う●

**「僕は愛されているんだ」という実感が必要!**

※95%の子どもが、親に叱られるのは当然と思っている



これが無いと、ただ怖い親・殴る親として見られてしまう

**「叱ること」と「虐待」とは全く違う**

## 「虐待」

本来は殴る・蹴るなど、子どもがケガをするほどの叱り方など



あくまでも

**子どもの主観次第**



基本的には各ご家庭の方針で、叱り方も決めれば良いが...

**「愛情」が大前提!!**

# ●ウソをついたら必ず叱る●

## <point①>

絶対にウソをついてはいけないということを教える



●不安な気持ちになって損をする

●落ち着きが無くなったり、ストレスが溜まる

※別の問題を引き起こすという悪循環に陥りやすい

## <point②>

正直に打ち明けたら、「褒める」



※ここで叱ってしまうと、本当のことを隠したりもつとウソをつくようになる



# ●やらせてみなければやる気にならない●

(やる気にさせる一番の方法)

『**やってみたら自分にも出来た!!**』を味わわせる



※出来たという『**結果**』が出ればうれしくなって、やる気になる

●近年の学校教育では...

『**プロセス**』が非常に重視されている



※子どもはなかなかやる気になれない



●どんな形でもいいので

『**結果**』に重点を置く



子どもは、案外やる気になってくれる!!



# ●子どもの可能性は無限大●

## 「素質論」

子どもの頃に勉強が苦手だったお母さんが、

「自分にできなかったのだから、うちの子も…」なんて思い込む



## コレ、実は間違い

※勉強の正しい方法を身につけることで学力は上がる!



<<子どもの才能を伸ばす上で、最も重要なこと>>

- ①『やる気にさせるノウハウ』・『学力を伸ばすノウハウ』を積極的に取り入れる
- ②『ノウハウを持つ専門機関(塾等)に通わせてみる』

# 『オンライン個別相談』受付中!

こんな子育てのお悩みがあるママさんは是非

- 「言うことを聞いてくれなくて、イライラ…!」
- 「自分のしつけ方に自信が持てない…」
- 「ついつい大声で怒鳴ってしまった…」
- 「夫婦で子育ての意見が合わない」
- 「子どもの個性・才能が知りたい!

✉️ご相談やお問い合わせはDMまで✉️



子育て診断士/FP 妙中祥悟

大阪府富田林市出身 40歳

小学4年生の息子がいる、現役子育てパパ👨

子育て世帯を応援する子育て診断士/FPとして、  
子どもの個性に合った子育て法と才能の伸ばし方、知らないと損をする賢い  
お金の備え方についてお伝えしています!

このinstagramでは、、

👨子育て世帯👨が知りたい『子育て』と『お金』の情報を発信しています✉️